



平成30年1月12日
午後1時00分発表

広報資料

問い合わせ先

稚内海上保安部

次長 佐々田 雄二

0162-24-8810

平成29年船舶事故及び人身事故の発生状況について(速報値)

平成29年に稚内海上保安部管内海域で発生した船舶事故及び人身事故の発生状況について取りまとめましたのでお知らせします。

1 船舶事故(詳細は別紙1のとおり)

船舶事故の隻数は9隻(前年比2隻増)

このうち船舶事故による死者数は1人(前年比1人減)

- (1) 船種別では漁船が6隻(前年比3隻増)、プレジャーボートが3隻(前年比増減なし)、貨物船が0隻(前年比1隻減)
- (2) 事故種類では、運航障害が3隻(前年比3隻増)、推進器障害が2隻(前年比2隻増)、転覆が1隻(前年比4隻減)、浸水が1隻(前年比増減なし)、火災が1隻(前年比増減なし)、その他が1隻(前年比1隻増)
- (3) 日本船舶の事故隻数は8隻(前年比2隻減)
- (4) 外国船舶の事故隻数は1隻(前年比増減なし)
- (5) 船舶事故による死者数は1人(前年比1人減)

2 人身事故(詳細は別紙2のとおり)

人身事故者数は22人(前年比8人増)

このうち人身事故による死亡・行方不明者数は10人(前年比6人増)

- (1) 船舶事故によらない乗船者の人身事故者数は13人(前年比2人増)
このうち死亡・行方不明者数は4人(前年比3人増)
- (2) マリンレジャーに伴う海浜事故者数は2人(前年比1人増)
このうち死亡・行方不明者数は1人(前年比増減なし)
- (3) マリンレジャー以外の海浜事故者数は7人(前年比5人増)
このうち死亡・行方不明者数は5人(前年比3人増)

稚内海上保安部では、引き続き船舶事故及び人身事故の未然防止のため、船舶への訪船指導及び釣り人等のマリンレジャー愛好家等への海難防止活動を実施していきます。

(用語解説)

船舶事故とは、海上における船舶に衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他安全な運航が阻害された事態が生じた場合をいう。

船舶事故の運航阻害とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失、無人漂流をいう。

人身事故とは、船舶事故によらない乗船者の人身事故、マリッジジャーに伴う海浜事故及びマリッジジャー以外の海浜事故をいう。

船舶事故によらない乗船者の人身事故とは、衝突、乗揚、転覆等の船舶事故以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等をいう。

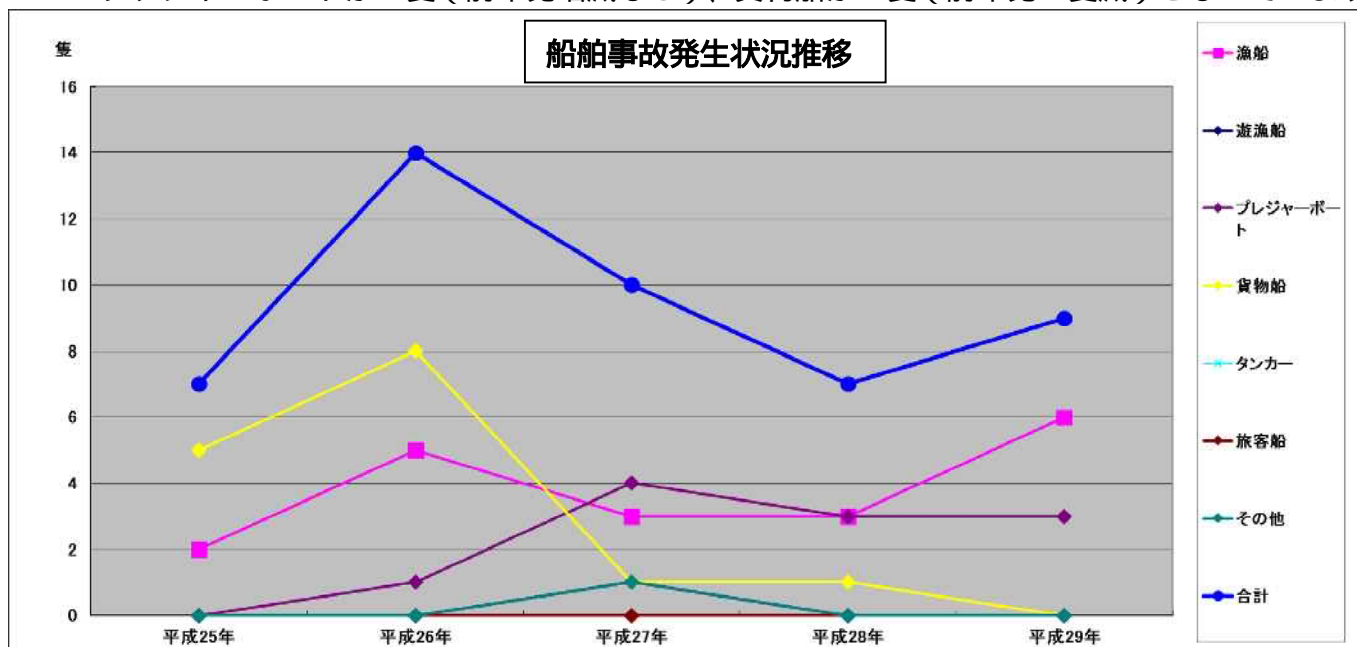
マリッジジャーに伴う海浜事故とは、海水浴、釣り、サーフィン、スキューバダイビング等の海洋における余暇活動に伴って発生した事故をいう。

マリッジジャー以外の海浜事故とは、余暇活動以外の海浜において発生した事故であり、自殺、岸壁からの海中転落等をいう。

1 船舶事故の発生状況

(1) 船種別

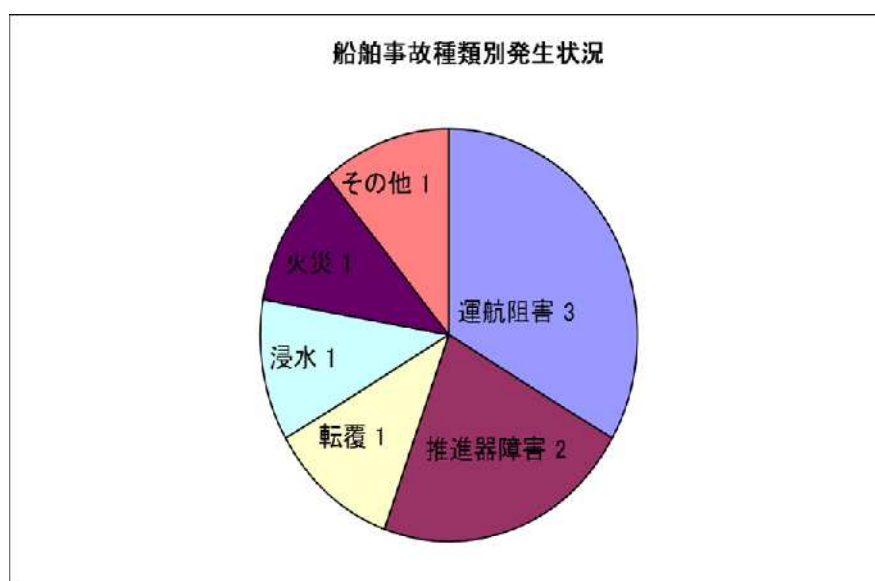
船舶事故総隻数は9隻（前年比2隻増）で、船種別にみると、漁船が6隻（前年比3隻増）プレジャーボートが3隻（前年比増減なし）、貨物船が0隻（前年比1隻減）となっています。



漁船による事故隻数は6隻と過去5年で最多
貨物船による事故隻数は0隻と過去5年で最小

(2) 事故種類別

事故種類別では、運航阻害が3隻（前年比3隻増）、推進器障害が2隻（前年比2隻増）、転覆が1隻（前年比4隻減）、浸水が1隻（前年比増減なし）、火災が1隻（前年比増減なし）、その他が1隻（前年比1隻増）となっています。



無人漂流などの運航阻害と推進器障害が全体の約6割
推進器障害事故は過去5年で最多の2隻

(3) 日本船舶の事故隻数

船舶事故 9 隻のうち、日本船舶の事故隻数は 8 隻（前年比 2 隻増）です。

(4) 外国船舶の事故隻数

船舶事故 9 隻のうち、外国船舶の事故隻数は 1 隻（前年比増減なし）です。

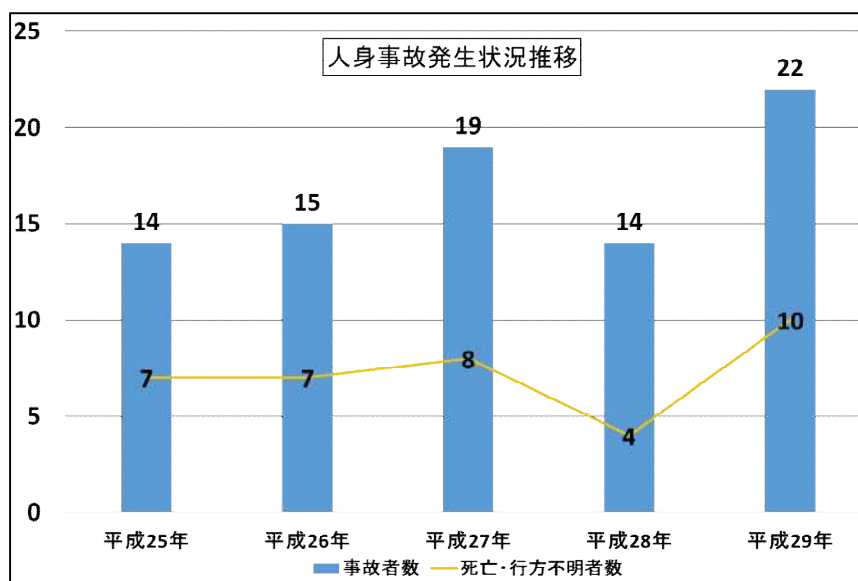
(5) 船舶事故による死亡者数

船舶事故による死亡者数は 1 人（前年比 1 人減）で、昨年 6 月 1 日にユーチ岬沖で発生したカヌーでの事故によるものです。

2 人身事故の発生状況

人身事故の総人数は22人で前年比8人増でした。

このうち死亡・行方不明者は10人で、前年に比べ6人増加しました。



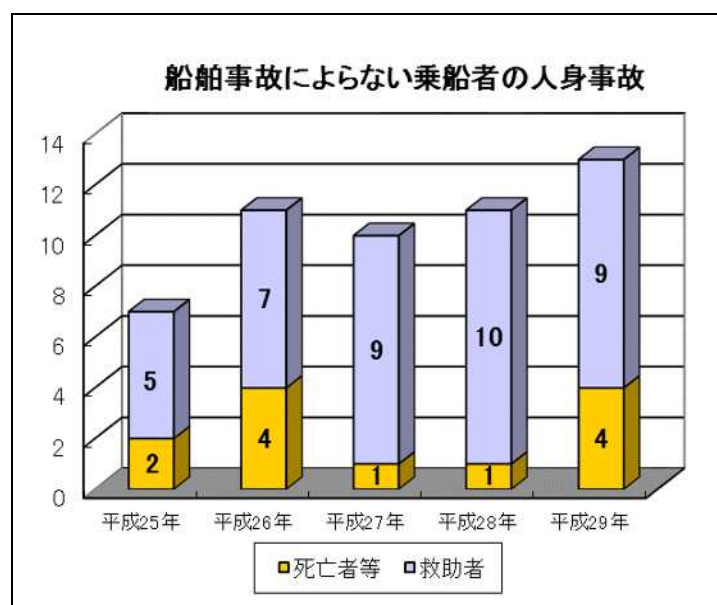
事故者数の総数は過去5年で最多

発生人数が増加している要因として、海中転落及び自殺等の事故の増加が挙げられる

(1) 船舶事故によらない乗船者の人身事故

船舶事故によらない乗船者の人身事故者数は、13人(前年比2人増)で、このうち4人が死亡・行方不明(前年比3人増)となっています。

事故種類別の人身事故者数は、「負傷」9人(前年比2人増)うち死亡・行方不明者0人(前年比増減なし)、「海中転落」3人(前年比2人増)うち死亡・行方不明者3人(前年比2人増)、「病気」1人(前年比2人減)うち死亡・行方不明者1人(前年比1人増)となっています。

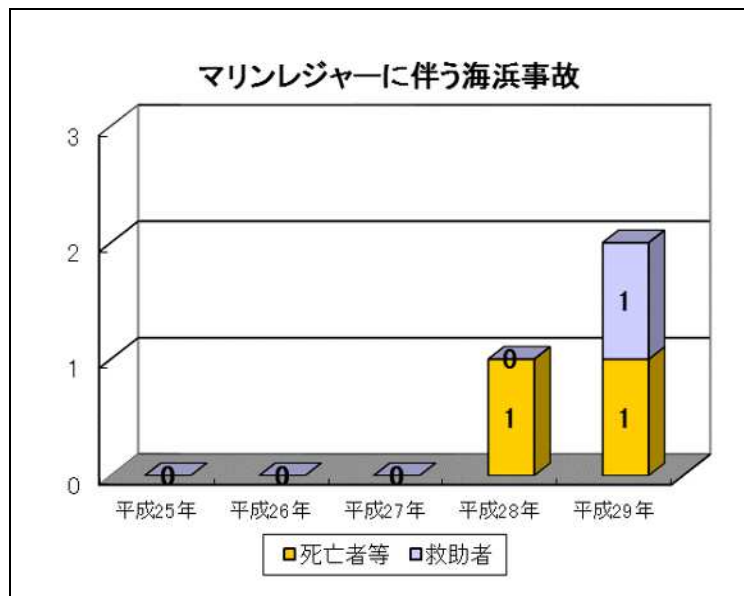


事故者の総数は、過去5年で最多

負傷が全体の約7割であり、漁船乗組員の事故が全体の約4割

(2) マリンレジャーに伴う海浜事故

マリンレジャーに伴う海浜事故者数は2人(前年比1人増)うち死亡・行方不明者1人(前年比増減なし)となっています。

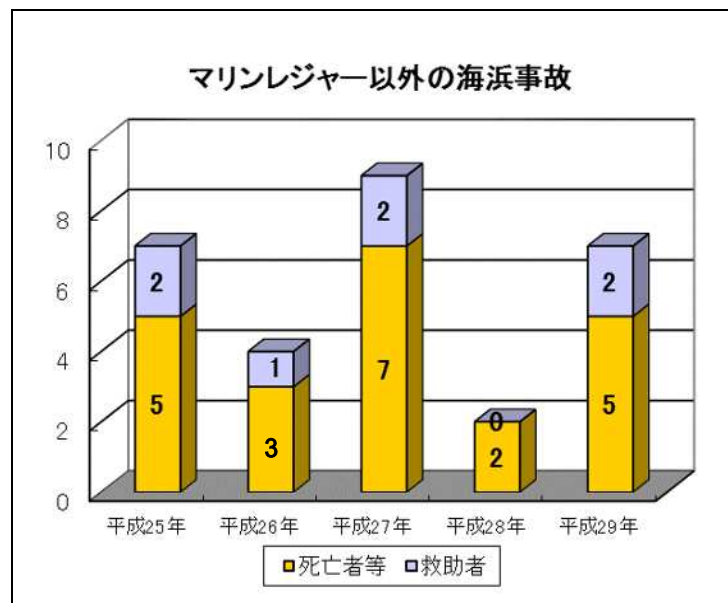


事故者の総数は過去5年で最多
2件とも釣り中の事故

(3) マリンレジャー以外の海浜事故

マリンレジャー以外の海浜事故者数は7人(前年比5人増)で、このうち5人が死亡・行方不明(前年比3人増)となっています。

事故種類別の人身事故者数は、「海中転落」4人(前年比2人増)うち死亡・行方不明2人(前年比増減なし)、「自殺」2人(前年比2人増)うち死亡・行方不明2人(前年比2人増)、その他1人(前年比1人増)うち死亡・行方不明1人(前年比1人増)となっています。



海中転落が全体の約6割